・「基本方針」、「活動時間・休養日等」、「大会参加」、「部活動運営」については記載すること。

・項目は例であるため、適宜追加等のこと。

・※は記載例以外で考えられることを示している。

学校方針記載例

○○○○高等学校　部活動に係る活動方針

**１．基本方針**

（１）学業と部活動の両立を図り、学校生活の充実を図る。

（２）生徒の自主性、自発性に基づいた活動を通して、生涯にわたり豊かなライフステージを実現するための能力を育成する。

　　（３）技術、競技力の向上はもとより、仲間と協力し、楽しむことも味わう。

|  |
| --- |
| ※部活動の目的の明確化（学校教育目標を踏まえた部活動の目標設定も含む）。※「部活動顧問会議等」で決定したものを記入しても可。※運動部、文化部別の目標設定も考えられる。 |

**２．本年度の部活動**

　　**（１）設置部活動**

　　　　　　野球部、サッカー部（男子）、バレーボール部（男女）、茶道部、吹奏楽部

　　**（２）活動時間・休養日等**

　　　　　　①活動時間　学期中　　　平日３時間程度　　週休日等４時間程度

　　　　　　　　　　　　長期休業中　４時間程度

　　　　　　②休養日　　週当たり１日以上とする。

　　　　　　③その他　　長期休業中は３日以上の長期休養期間を設ける。

　　　　　　　　　　　　定期試験の1週間前から原則として休養日とする。

　　　　　　　　　　　　総体前の活動については時間延長を認める。

　　**（３）大会参加について**

　　　　　　①高体連・高文連主催、共催、後援の大会

　　　　　　②その他の大会については校長が許可したもの

|  |
| --- |
| ※部活動として参加する大会について記載 |

**３.部活動運営について**

　　（１）体罰等の根絶

　　　　　　部活動指導者は、いかなる理由があっても、部活動での指導で体罰を正当

　　　　　化することは誤りであり、決して許されないものであるとの認識を持ち、体罰等のない指導に徹する。

（２）安全管理と事故防止

①生徒の健康管理の把握を行う。

②事故の未然防止のため、施設・設備の点検を行う。

③危機管理体制の徹底を行う。

（３）保護者の理解と協力

　　　保護者の理解と協力は、部活動の運営上欠かすことができないたいせつな

ことであるため、活動計画等を明確にし、保護者に理解を得る。

**４.その他**

|  |
| --- |
| ※記載することがあれば記入 |